○乳幼児健康診査の充実
身体発育、精神発達などの障害を早期発見するとともに、適切な保健・歯科指導を行いました。
4～5カ月児健康診査　年6回実施
10カ月児健康診査　年6回実施
1歳6カ月児健康診査　年6回実施
3歳児健康診査　年12回実施

○健康相談・育児学級等の充実

延利用者数	18年度	19年度
乳幼児健康相談	277人	247人
パパママ学級	152人	151人
育児教室	97人	164人
チューリップ教室	122人	98人
ことばの相談室	39人	31人
うんどうの相談室	16人	12人

障害児に対する療育の充実

○障害児通園（デイサービス）事業の推進

	利用者数	延利用回数
19年度	3人	144回
18年度	6人	312回

ひとり親家庭の支援の充実

○母子及び寡婦福祉資金貸付制度やひとり親家庭就学援助制度の普及推進
母子及び寡婦福祉資金貸付制度利用者　1人
庭就学援助制度の普及に努めました。
母子及び寡婦福祉資金貸付制度やひとり親家
ひとり親家庭就学援助制度利用者　5人

③児童虐待防止をはじめとした要保護児童対策の推進

児童虐待の早期発見、早期対応への取り組み

○要保護児童対策地域協議会の開催
代表者会議　1回
実務者会議　1回
ケース検討会議　延6回
児童虐待等の取り扱い件数は、9件でした。

④経済的支援の推進

○乳幼児等医療費支給事業等の推進
名称を「乳幼児等医療費支給事業」から「こども医療費支給事業」に変更し、対象年齢を拡大しました。入院の場合は15歳に達する日以後の最初の3月31日まで、通院の場合は中学校就学前までとなりました。
また、10月から町内協定医療機関での窓口払いを廃止しました。

○児童手当・児童扶養手当制度の普及
児童手当支給児童数　3、281人
児童扶養手当支給者数　272人
特別児童扶養手当支給者数　58人

	受給者数	支給件数
19年度	3、785人	35、707件
18年度	1、867人	23、337件
比較	1、918人増	12、370件増

○子育て支援交付金支給事業の推進
出生児1人に対し、チャイルドシート購入費の一部として、1万円を交付しました。
支給児童数　232人

2. 働きながら子育てしている家庭のために

放課後児童クラブの施設設備、利用時間延長等の保育体制の充実をはじめ、多様で弾力的な保育サービスの充実を図りました。

①多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実

低年齢児保育、延長保育、障害児保育等の充実

○低年齢児保育（20年3月1日現在）
公立　12人（町内11人、町外1人）
私立　25人（町内19人、町外6人）

○通常保育（20年3月1日現在）

	保育所入所者数	待機児童数
19年度	631人	0人
18年度	643人	0人

○延長保育
延長保育事業を実施したゆずの木保育園に対して30万円の補助を行いました。
利用者数　寄居保育所　延921人
ゆずの木保育園　延354人

○障害児保育
障害児等保育所入所児童数　公立　10人
私立　4人

子育てを総合的に支援するための新たな施設の設置についての検討

○次世代育成支援対策施設整備費補助金交付要綱を制定
保育所の施設整備を行う社会福祉法人等に対し、補助対象経費の2分の1を補助する制度を創設しました。

家庭保育室の利用の促進

深谷市にある家庭保育室に対し、乳幼児の保育を委託しました。
ふたば乳児保育室
2歳児1人（10月から6カ月間）
委託料5万5、200円

②放課後児童クラブの充実

放課後児童クラブ運営基準に基づく保育の質等の向上

10月から土曜日の開設時間を延長しました。
寄居、桜沢、鉢形、用土学童クラブ
第2・4土曜日　8時30分～16時30分
男衾学童クラブ
毎週土曜日　8時30分～18時30分

放課後児童クラブの受入体制の整備促進

5箇所の学童クラブにおいて、入所要件に適合する児童296人を受け入れました。

3. 次世代を育む親となるために

次世代の担い手である地域の子どもたちが、その成長とともに豊かな心と体を育んでいくために、家庭および学校教育等のさらなる充実を図りました。

①家庭教育の充実

家庭教育に関する情報提供および学習機会の充実

○男女共同参画に関するPR活動
男女共同参画の必要性について、12月に講演会（140人参加）を実施しました。

○各種講座・学級の開催
小学校の保護者を対象に、各小学校単位に家庭教育学級として「すこやか子育て講座」を年間5回以上開催。講師を「寄居生活学の達人」に依頼し、家庭教育の充実を図りました。

②学校教育の充実

豊かな心を育てる教育の推進

○道徳教育等の推進
児童生徒が豊かな心をもった調和のとれた人間となるよう、「心の教育」を推進しました。

4. 子どもが健全に育つ町づくりのために

地域社会の学習環境の整備、地域子育て力の向上を図り、子どもが健全に育つ町づくりを目指し、各施策を実施しました。

①地域の子育て力の向上

ボランティア体験機会の充実の促進

社会福祉協議会において、ボランティア体験プログラムのうち「こども・保育所関連体験メニュー」7項目を用意し、延43回実施、38人が体験しました。